

2022年「栄養経営士」基礎講習 幕開け 講習修了者の全累計は2,051人に

**栄養が治療・病院経営の一翼を担う時代
マネジメント能力を活かした部門運営を**

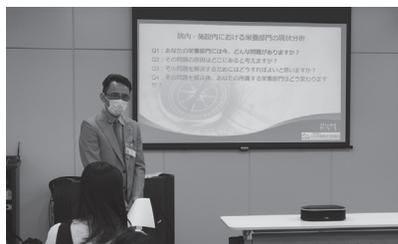
日本栄養経営実践協会が主催する、2022年の「栄養経営士」資格認定基礎講習(以下、基礎講習)が3月5日(土)の東京会場からはじまった。今年は東京・大阪の各会場+WEB受講のハイブリッドで開催し、宮澤靖代表理事が講師として受講者に直接講義を行って「栄養を経営の視点で見る重要性」を伝えていく。

**業務の質と結果の両立
管理栄養士にしかできない業務に取り組もう**

「栄養経営士」資格認定試験では、基礎講習を修了することが受験資格のひとつとなっている。宮澤代表理事から直接「栄養経営」という考え方、視点」を学ぶことで、栄養経営士としての姿勢や目指す先を理解してもらおうことが目的である。講義内容は「栄養部門の現状分析」「目標設定実践のアプローチ」「業務の質を高めるアウトカム指標」「教育と人事能力」「病態把握能力と臨床栄養教育」と大きく5つに分かれている。

2022年初の基礎講習となる3月5日の東京会場では、会場5人、WEB受講22人の合計27人が参加した。はじめに栄養部門が周囲からどう見られているか、現状と課題を

説明してから、参加者に各々の施設の現状や課題を確認した。それに対し、宮澤代表理事が解決の方向性を示すことで、参加者全員に栄養経営の具体的な考え方と、その有効性について示した。



会場参加者から話を聞く宮澤靖代表理事

その後は施設の経営や部門の目標に対して、業務の質を保ちつつ結果を出すためにはどうすればよいのかを説明。宮澤代表理事は自身の経験を紹介しながら「成果を上げるには業務の選択と集中が重要で、管理栄養士にしかできない業務こそ、私たちが取り組むべきものだ。自分たち

の軸足をどこに置くべきか、しっかり考えて欲しい」と説き、参加者に発破をかけた。

参加者の熱い気持ちが**栄養の現場を変える**基礎講習の参加者からは「講習を受けて、改めて職場で求められる管理栄養士像を確認することができた。目指すビジョンへの第一歩を踏みだすきっかけになった」「コストを減らし利益を上げられる部門であると病院に認めてもらい、必要な人員が定着する魅力的な職場となるよう、あきらめず前進していきたい」といった、前向きで力強い感想をいただいた。その熱い気持ちを胸に、理想の職場・管理栄養士をめざして欲しい。

次回の基礎講習は7月10日(日)に、大阪会場+WEB受講での開催を予定している。医療・介護福祉の現場

2022年スケジュール

「栄養経営士」資格認定基礎講習

大阪会場+WEB受講

東京会場+WEB受講

7月10日(日) 11月27日(日)
ともに10:00~17:00



基礎講習修了者累計

会場受講者数 1,523人

DVD受講者数 528人

修了者累計 2,051人

(2022年3月10日現在)

で栄養の力が求められる。今、一人でも多くの管理栄養士が栄養治療と施設運営に貢献できる栄養部門の構築と運営に手腕を発揮してくれることを願っている。

2022年度「栄養経営士」資格認定試験はIBT方式で開催中です!

「栄養経営士」 資格認定試験

- 試験日:毎日受験可能
- 受験料:9,500円(消費税・システム利用料込み)
- 実施方法:IBT(Internet-Based Testing)方式
※インターネットを経由しスマートフォン、タブレット端末、パソコンを使用して受験
- 受験エントリー期間:通年
- 受験資格:管理栄養士(実務経験2年以上)かつ「栄養経営士」資格認定基礎講習修了者

「栄養経営士」資格認定基礎講習は
WEB・DVDによる受講も可能です!

DVD受講は3枚組、特典映像
「近森病院に学ぶ実践マネジメントのすべて」付き

くわしくは

🔍 **栄養経営士**

検索



日本栄養経営実践協会 東北支部研究会

より良い医療提供を目指し
栄養部門をけん引するリーダーになろう

日本栄養経営実践協会東北支部では協会本部の秋山和宏副代表理事を講師に迎え、2月4日(金)から隔週で全3回にわたり「講義とグループワークで学ぶ 栄養部門のリーダーになるためのファーストステップ」をオンライン配信で開催しました。

リーダーを目指すなら「マネジャー」とリーダーの違いとは何か」という内容からはじまりました。リーダーになるにはマネジャーとしてのマネジメント能力を、第3夜は参加者全員でのグループワークを行いました。

初日となる第1夜は「マネジャーとリーダーの違いとは何か」という内容からはじまりました。リーダーになるにはマネジャーとしてのマネジメント能力を、第3夜は参加者全員でのグループワークを行いました。

後半はKPIとは何か、どうやって設定するのかを解説しました。「ただ栄養指導をコツコツ積み上げるだけでは成果につながらない」と語りました。

「モレなくダブリなし」を徹底しよう。第2夜はマネジャー以上になるために知っておきたい、イシュー・ドリブンのMECE(ミーシー)について、秋山副代表理事から説

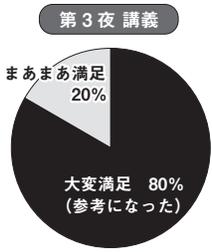
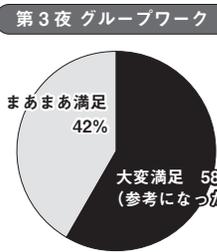
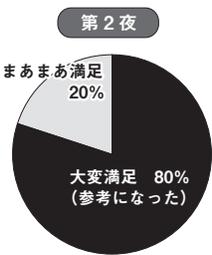
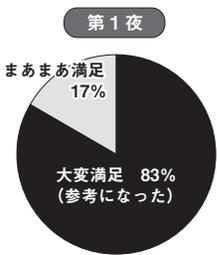
「モレなく、ダブリなし」を徹底しよう。第2夜はマネジャー以上になるために知っておきたい、イシュー・ドリブンのMECE(ミーシー)について、秋山副代表理事から説

「モレなく、ダブリなし」を徹底しよう。第2夜はマネジャー以上になるために知っておきたい、イシュー・ドリブンのMECE(ミーシー)について、秋山副代表理事から説

「モレなく、ダブリなし」を徹底しよう。第2夜はマネジャー以上になるために知っておきたい、イシュー・ドリブンのMECE(ミーシー)について、秋山副代表理事から説

「栄養部門のリーダーになるためのファーストステップ」参加者の感想

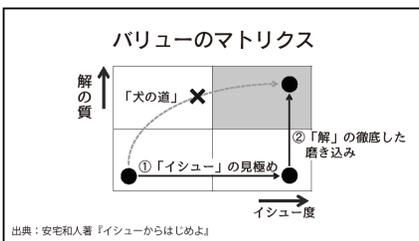
- 第1夜 マネジャーへの道
 - 求められる人材と活躍する人材
 - MBOとKPI
- 第2夜 マネジャー以上リーダー未満
 - イシュー・ドリブンのMECE(ミーシー)
- 第3夜 リーダーたれ
 - グループワーク
 - シェアタイム
 - まとめ



●全3回を振り返って感じたこと

- 「リーダーは志、というのが胸に残りました。意味を見いだすこと。日々業務に流されていましたが、今回考えるきっかけをもらいました」(介護医療院勤務)
- 「第二夜のイシュー・ドリブンのお話に衝撃を受けました。何を一番に優先すべきかを改めて考える機会となりました」(病院勤務)
- 「経営学的視点ではじめて知ることが多く、勉強になりました。今後セカンドステップ、サードステップとさらに詳しく学びを深めていけるセミナーを希望します」(病院勤務)
- 「難しい内容でしたが、胸に残るものがありました」(老人保健施設勤務)
- 「栄養士としてはなかなか聞く機会のない話をたくさん聞くことができ、自分の未知の世界を開いた気がしました」(病院勤務)

意識を変えて 仕事の価値を変えよう。第3夜ははじめに参加者全員が3グループに分かれて「リーダーとはどんな人か」について話し合いました。ワーク後、各グループの代表が意見を述べたあと、秋山副代表理事は「私はリーダーとマネジャーの違いは、志の違いだと思っている。仕事の価値は仕事の内容ではない。その仕事の先に何をみつめてい



仕事の重要度と価値を示す表(第2夜資料より)

し」がとても重要だと説明。「物事の階層がそろっておらず、漏れやダブリがあると重要ではないと判断される。プレゼンや企画を考えるときには必ず意識して欲しい」と語り「MECEは本当に大切なので、しっかり時間をかけて考えて」と呼びかけました。

◎メルマガあります!

秋山副代表理事がお勧めする書籍や医療に関する情報等を紹介するメルマガが毎週配られています。ご興味があるかたはぜひQRコードよりご登録ください!
<https://minnadekenko.com/>

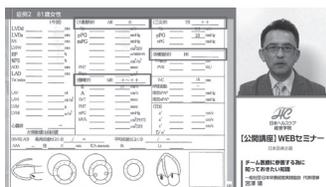


第3夜は全員で3グループに分かれ意見交換を行った

るかだ。同じ作業をするにしても、意味を見出しながらやると仕事の価値が変わる」と語り、「たとえば栄養指導をするときも、栄養を通してこの国の医療を良くしていくという意識を持って欲しい」と訴えました。最後に、「リーダーとして共感する詩」として宮沢賢治の「業の花びら」という詩を紹介し、全3回の研究会は終了しました。

患者の体内で起こっていることを知り、チーム医療で貢献できる管理栄養士になろう!

栄養経営特別セミナー 症例検討 【公開講座】WEBセミナー
「チーム医療に参画する為に知っておきたい知識」



講師 宮澤靖

講義内容

- 1) Evidenceで見る(診る)栄養サポートの重要性(26:35)
- 2) 症例1 78歳女性の場合(36:33)
- 3) 症例2 81歳女性の場合(36:40)

講師 宮澤靖(一般社団法人日本栄養経営実践協会 代表理事、東京医科歯科大学病院 栄養管理科 科長)

視聴方法 パソコン、タブレット、スマートフォン ※OSとブラウザのバージョンは紹介ページでご確認ください

講義時間 約100分(全3動画)

視聴期間 14日間

受講料 4,400円(税込)

申込および詳細 <http://hcmi-s.net/weblesson-hcm/e01/>

申込・お問い合わせ先

日本ヘルスケア 経営学院事務局 (株式会社日本医療企画内) TEL:03-3553-2862 E-mail: jissenkenkyu@jmp.co.jp



宮澤靖

日本栄養経営実践協会 代表理事



栄養経営士には「経営」と「臨床」の大きな二本の柱があります。今まで協会ではマネジメントに軸足を置いた活動が多かったのですが、これからは臨床にも力を入れていきたいと考えております。この動画内では2つの症例を紹介していますが、私が話していることだけが答えではありません。「答えはベッドサイドにある」ということを忘れずに、参考例として活用してください。この動画を会員の皆様に広くご覧いただき、臨床能力を高めるお手伝いができればと思っております。そして、栄養経営士として「経営」と「臨床」の両軸に足を置き、アクティブに施設内で活躍されることを期待しています。

支部NEWS

九州支部

【九州支部】 セミナーレポート

糖尿病の基礎を振り返り、論文から最新の知見を習得する

管理栄養士のための基礎医学講座～糖尿病&論文編～

日本栄養経営実践協会九州支部は2月19日(土)、「糖尿病と論文」をテーマとした「管理栄養士のための基礎医学講座」を開催しました。この講座は管理栄養士が業務を行う上で必要な、基礎的医学の知識習得が目的とし、年に2回行っています。講師は九州女子大学家政学部栄養学科教授で医師の三浦公志郎氏が務め、会場での講座とライブ配信を行いました。

病気の仕組みと薬の効果・機序作用を知る

前半は糖尿病の病理や血糖とインスリンの関係等について講義がありました。三浦氏は「日本人は食後高血糖になりやすい患者が多く、生まれつきインスリンの量が低く、分泌のタイミングが遅い」と紹介しました。

とくに管理栄養士が苦手としている薬の効果や機序作用について、インスリン抵抗性改善薬・インスリン分泌促進薬・糖吸収排泄調整薬についてそれぞれ説明しました。インスリン抵抗性改善薬でメトホルミンが含まれるビッグアナイド薬は、単独の使用で低血糖の危険性が高くなく、比較的安価なので、治療の基本的な選択薬として位置づけとなっていました。今はインスリン分泌促進薬のDPP-4阻害薬も第一選択となっています。

三浦氏は「アメリカでは、アテローム動脈硬化性心血管疾患既往または高リスク状態、心

不全、CKDを合併している場合、GLP-1受容体作動薬またはSGLT2阻害薬を選択することが、昨年の糖尿病学会で発表された。日本ではすでに使用しているが、今後需要がさらに増えると予測される。栄養士の皆さんは薬の副作用である脱水のリスクに備える必要があるかもしれない」と伝えました。

英語の論文の探し方・読み方を学ぶ

後半は、論文の読み方を中心に講義しました。三浦氏は「医師は指導に対するエビデンスを求めてくるので、管理栄養士も英語の論文を読んでほしい。一歩踏み出せないとの声を聞き、テーマに論文を加えた」と今回のセミナーの主旨について伝えました。

「非肥満者の断続的断食の効果は摂取エネルギー制限に及ばない」や「果物の摂取で糖尿病リスクが低下するが、ジュースでは効果なし」など、最近読んだ興味深い論文を紹介したあとで、まず必要な論文の探し方を説明しました。

論文の原文を探す際はアメリカの国立図書館の論文データベースの「PubMed」を使用します。英語論文を読むときはタイトルとAbstractやsummaryから読みます。どちらも「要旨」の意味で、大事なことはここに書いているので、全文を読まなくても理解ができます。また、英文が読めなくても「最近ではグーグル翻訳

の性能が上がっているので、十分活用できる」と話しました。

コンセンサスレポート(ステイトメント)の意味について質問があり、三浦氏は「原著論文と違い、専門家が集まって検討し結論付けるもの。著者の順番が大切で、その論文に一番貢献した著者の名前から並んでいる」と説明しました。

受講生からは「インスリン分泌の過程や、血糖降下薬の違いについて理解を深めることができた。また、患者に寄り添ったカウンセリングをすることの大切さを改めて感じた」「糖尿病は多岐に渡り勉強が必要だが、ポイントと詳しい作用機序などの説明があり、とても有意義だった」「論文について教わったページを見て、ワクワクしている。紹介された論文も後で調べてみたい」との声があり、今後の取組への意欲を感じました。



会場にスクリーンを投影しチャットも使用して会場・ネットでのコミュニケーションを行った

★新会員サービス「オンラインサロン」大好評開催中!

令和4年度診療報酬改定 理事の先生方はどう見てる?

本協会の栄養経営士・栄養経営サポーターのみが無料で参加できる「オンラインサロン」。第13回は2月28日(月)18:30より行われました。協会からは宮澤靖代表理事、吉田貞夫理事、真壁昇理事、山下茂子理事、西岡心大理事、田中智美理事が出席し、参加者から寄せられた質問や悩みに対しみんなで語り合いました。

この日は最初に2月9日(水)に厚生労働省から公表された「令和4年度診療報酬改定」について、各理事から所感発表がありました。一部分になりますが、その内容を紹介します。

* * *

真壁理事「かなり充実すぎて、概略はつかんだもののまだ追いついていない。詳細が出たら、ブラッシュアップして実務に落とし込む予定。化学療法のがん患者については、内服も入るので対象者が広がる。それにどう向き合うか、そのアウトカムが大事。褥瘡については栄養管理計画書をどうするかが課題になると思う」

田中理事「盛り盛りの改定だなという印象。今はどう業務を組み立てるか考えている。業務と働き方改革との両立が難しいが、チャンスだとも思う。個別の加算については、しっかり対応して取っていききたい」

山下理事「いろいろなところに点数が付き、栄養部門への期待を感じる。それに応えて、質の高

い栄養管理を行って社会の信頼を得ることが大事。先んじて専門士の資格を取るなど、これからどうなるかに目を向けていくことも必要になる」
西岡理事「特定機能病院の入院栄養管理体制加算は、算定するとNST加算が取れない。管理栄養士が病棟に入ればNSTは不要になるということだろう。ただし、病棟専従だと『病棟以外のことはしてはいけない』ので、そこは注意が必要。回復期の栄養についてはNMEニュース(2月号)の記事に書いたので、それを見て欲しい」
吉田理事「回復期については大きな変化はなかったという印象。専従の件は、今後どうやって人を確保していくかが病院として問題になるかもしれない。管理栄養士の立場からすると、新たなニーズ、キャリアプランが出てくる可能性もある」

宮澤代表理事「診療報酬の改定率は、本体は上がったが薬価は下がっている。薬での治療から食事での治療・予防の流れを感じ、栄養士には追い風かなと思う。病棟常駐については、特定機能病院の管理栄養士ががんばらなければ、一般急性期や回復期には広がらない。マンパワー不足があるなら、業務にメリハリをつけて選択と集中を。モニタリングが始まるのは9月、それまでに形をつくらないと次はない。管理栄養士の未来のために、該当する管理栄養士はこれから半年間、心して取り組んで欲しい」

* * *

「オンラインサロン」は今後も月に1回のペースで実施する予定です。全国の栄養経営士や理事の先生方と直接交流できる、会員ならではの貴重な機会ですので、ぜひ奮ってご参加ください。

▼2月28日(月)の話題

- ・コロナで厨房閉鎖になったことはある? そのときの食事はどうした?
- ・電カル運用での食事オーダーでは、どこまで栄養士が入力してる?
- ・特別食の継続確認はどうしてる?
- ・スタッフの時間管理の意識付けどう進めればいい?
- ・へき地で勤務していたが大きなところで異動すること。何を勉強すればいい?
- ・栄養介入の評価のため入院直後の評価と退院時の2点を比較していたが、2年やってきて、うまくいってるかどうかわからない。どうすればいい?

■栄養経営士 オンラインサロン

- ◇次回開催日時:4月27日(水) 18:30~
- ◇参加対象:栄養経営士・栄養経営サポーター
- ◇受講料:無料
- ◇開催形式:オンライン配信(Zoom)

※お互いの顔を見ながら会話をするので、カメラ・マイク機能が使えるパソコン・タブレット等をご用意ください
※後日、アーカイブ配信もあります
※個別の症例の相談にはお答えできません

栄養経営士が知っておきたい!

イベント
情報掲示板

栄養経営士に求められるのは、さまざまな情報へのアンテナを張り、自身の知識・スキルを常にアップデートしておくこと。そのための貴重な機会である、全国で開催されるイベント情報を、支部の研究会を中心に掲載します。

※新型コロナウイルス感染症対策で、イベントが中止になる場合があります。必ず最新情報を確認してください。

セミナー情報

栄養ケア・マネジメント講座

栄養ケア・マネジメントの手法を基礎から学ぶとともに、厚生労働省の様式例に沿って書類作成方法(各種加算算定対応を含む)、監査対策について解説します。また、体験や事例検討により、対象者の摂食嚥下機能についての観察ポイントや課題を見出す実践力を養います。

- 日程：4月23日(土)10:00~15:00(うち休憩1時間)
- 講師：高橋樹世氏(管理栄養士/日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士)
- 形式：オンライン(Zoom)
- 参加費(税込):8,000円
- 主催/お問い合わせ：株式会社東洋システムサイエンス
TEL: 045-451-3191



学会情報

第9回 日本サルコペニア・悪液質・消耗性疾患研究会

今後の研究が期待されているカヘキシアと悪液質について、講演やシンポジウムが行われます。

- 日程：4月23日(土) 9:20~16:50
- 講師：若林秀隆氏(東京女子医科大学リハビリテーション科)
前田圭介氏(国立研究開発法人国立長寿医療研究センター老年内科)ほか
- 参加費(税込):5,000円 ※会費1,000円を払い入会すれば無料で参加可能
- 形式：オンライン(Zoom)
- 定員：会場30人+リモート100人
- 主催/お問い合わせ：第9回日本サルコペニア・悪液質・消耗性疾患研究会事務局
TEL:03-3353-8112



協会事務局より

2022年4月期限の会員の皆様へ
【年度会費納入および資格更新のご案内】

本年4月に年度会費・会員資格の有効期限を迎える会員の皆さまに、当協会より、年度会費納入および資格更新のご案内を郵送しております。更新手続きの期限は過ぎておりますが、事務局ではまだ受け付けております。対象の方はご確認およびお手続きのほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

- 年度会費：有効期限が2021年4月20日~2022年4月19日の方
【個人正会員】10,000円
【栄養経営サポーター】8,000円
- 資格更新：会員資格が2019年4月20日~2022年4月19日の方
【個人正会員】15,000円(年度会費込み)
※申請書類・課題をご提出ください。
【栄養経営サポーター】13,000円(年度会費込み)
- お問い合わせ：一般社団法人日本栄養経営実践協会 事務局
TEL：03-3553-2903

セミナー情報

第8回 がん患者さんのための
管理栄養士セミナー

ICUでの栄養の早期介入、周術期における栄養管理など、新たにベッドサイドでのアセスメントやモニタリングの知識が必要になる管理栄養士に向けて、「がん患者の周術期におけるベッドサイドの栄養管理」というテーマでオンラインセミナーを開催されます。

- 日程：3月26日(土)10:00~4月24日(日)23:59
- 講師：谷口英喜氏(済生会横浜市東部病院患者支援センター長/栄養部 部長)ほか
- 参加費(税込):11,000円 ※資料つき
- 形式：オンライン(Webブラウザ)
- 主催/お問い合わせ：ジャパンライム 株式会社
Mail:seminar@japanlaim.co.jp



「栄養経営士」資格認定基礎講習DVD



資格認定試験の受験前に、「栄養経営」という考え方を理解するために受講いただく講習です。本講習の受講が、栄養経営士資格認定試験の受験要件となります。

DVD視聴による受講が可能!
☆3枚組、特典映像付き☆

栄養経営士も会員価格で聴講できます!

- 【こんな方におすすめ】
- ・会場で受講したが、内容を復習したい
 - ・栄養経営士の方向性を、改めて確認したい
 - ・栄養経営士として、もう一度、話を聞きたい ……

本編(収録時間/DISC 1:90分、DISC 2:73分)

- 1.院内・施設内における栄養部門の現状分析
- 2.目標設定能力と達成に向けた実践的アプローチ
- 3.業務の質を高めるためのアウトカム分析
- 4.「栄養経営士」に求められる教育と人事能力
- 5.適材適所の組織マネジメント
- 6.病態の把握能力

特典映像(収録時間/DISC 3:約30分)

観てわかる!近森病院に学ぶ実践マネジメントのすべて

- 講師：宮澤 靖 代表理事ほか
- 受講料：8,500円(税込) 会員価格：3,850円(税込)